すずか未来デザインLABO

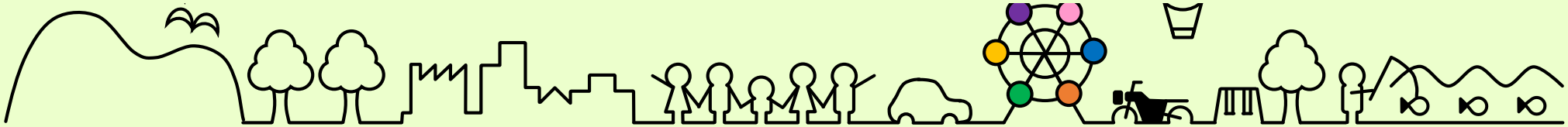
高専ハッカソン@鈴鹿

地域の未来を切り拓け

高専パワー！

開催要項

主催：鈴鹿市
協力：鈴鹿工業高等専門学校の有志学生の皆さん
後援：独立行政法人国立高等専門学校機構
三重県令和６年度「地域の未来予測」作成支援等補助金活用事業
企業版ふるさと納税活用事業（株式会社アミパラ・株式会社エイチーム）

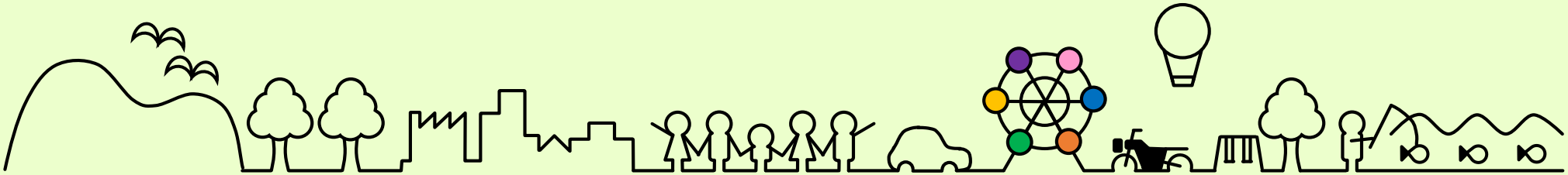


For a Future Full of Smiles Let’s co-create the Most Livable City,SUZUKA!

1　イントロダクション

鈴鹿市では、「すずか未来デザインＬＡＢＯ」として、若者世代の積極的な参画による市政の推進を目指すとともに、若者世代の学びの場や交流の機会を創出するプロジェクトを実施し、このプロジェクトから生まれたアイデアを市の政策の参考にしています。

今回、地域と世界が抱える諸課題に果敢に立ち向かう、深い科学的思考に根差した人材である、高専の学生のみなさんに、地域課題を知っていただき、デジタルを用いた解決手段を鈴鹿で一緒に考えていただくための「ハッカソン」を開催します。



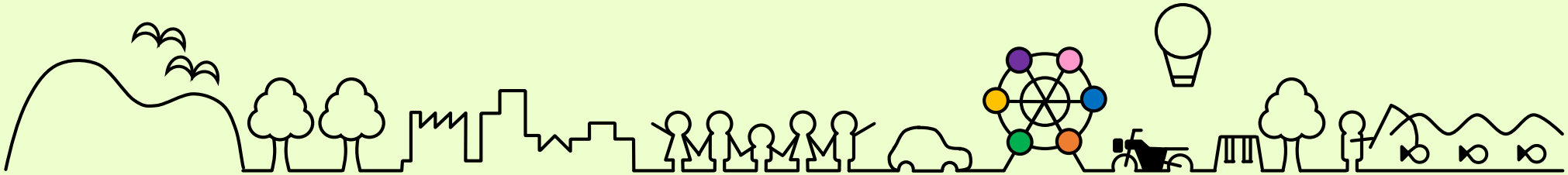
2　開催概要

1　応募条件　→詳しくは「５．応募について」を見てください
日本に存立する高等専門学校の４年生以上の学生（国公私立問わず・専攻科の学生を含む）
チームで参加できる方（２～４名）
キックオフミーティング（Web）及び現地開催に参加できる方
（キックオフミーティングはチームから１名は必ず参加してください）
※現地までの交通費（必要があれば前泊費用含）は全額支給します（本市の規程に基づく）

2　開催場所（会場）
スズカト（三重県立鈴鹿青少年センター：三重県鈴鹿市住吉町 南谷口）
宿泊もスズカトとなります

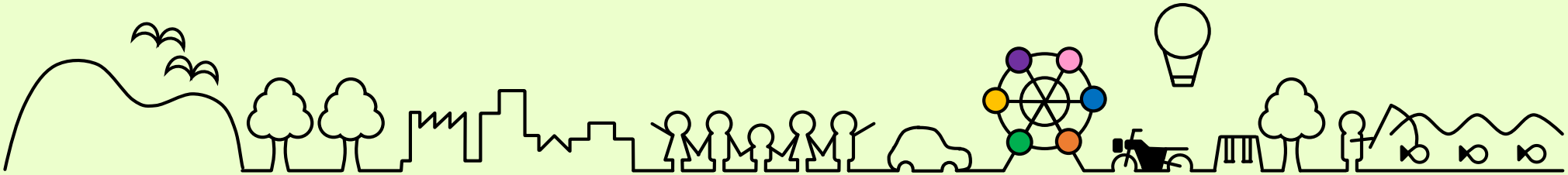
3　**取り組んでもらうこと**　→詳しくは「７．開発テーマについて」を見てください
鈴鹿市が抱えている地域課題に対し、ソフトウェア、ハードウェア、それらの融合など、形態を問いませんので、
社会をより良くするアイデアをご提案ください。
テック企業の社員と市職員がメンターとして、皆さんの作業をサポートします。

4　ルール
開発プロセス等は各チームで決めるものとし、事前開発期間にテーマの選定からアイデア出しまでをチームで進めていただきます。
会場において、開発やプレゼンテーション準備を行い、２日目の午後に、
デモやモック、動画、スライドなどを用いた、3分間の規定時間内でのプレゼンテーションを実施していただきます。



３　スケジュール

７月１０日（水）	エントリー開始
８月１０日（土）	エントリー〆
８月２１日（水）	キックオフミーティング（１４：００～）　（web） 課題の詳細・サポート体制・当日までの流れについて説明
８月２２日（木） ～ ９月１３日（金）	事前開発期間（メンターによるサポート有）　（web）
９月１４、１５日（土、日）	開発・資料作成・発表会・表彰（会場）



4　会場スケジュール

Day1

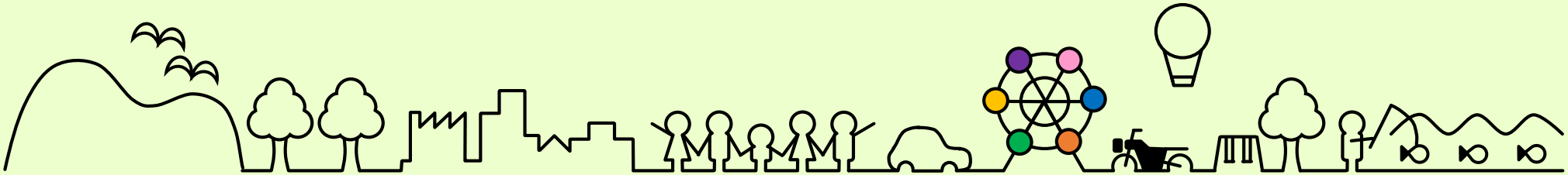
2024年9月14日（土）

～１２：００ （送迎希望者）	近鉄名古屋線　白子駅 西ロータリー集合（主催者送迎）
～１３：００	スズカト　大研修室１　集合
１３：００	オープニング 施設の利用説明
１３：３０ ～１８：３０	開発期間（Day1） アイデアの具現化／プレゼン準備
１９：００	夕食

Day2

2024年9月15日（日）

７：００	朝食
９：００ ～１１：３０	開発期間（Day２） プレゼン準備
１２：００	昼食
１３：００	発表／審査／表彰
１５：００	終了予定



5　応募について

1　参加資格

日本に存立する高等専門学校の４年生以上の学生（国公私立問わず・専攻科の学生を含む）
チームで参加できる方（２～４名）
キックオフミーティング（Web）及び現地開催に参加できる方
（キックオフミーティングはチームから１名は必ず参加してください）
プログラミング技能・経験は問いません
制作環境（パソコン・ソフトウェア等）、実行確認用の端末等を各自で用意できること
※現地までの交通費（必要があれば前泊費用含）は全額支給します（本市の規程に基づく）

2　応募方法

詳細＆申込

QRコードの応募サイトから応募してください。
応募に必要な情報は次のとおりです。
チーム名／チームの写真／意気込み／良く使うサービス／在籍する学校名
チーム全員の氏名／専攻／Ｔシャツのサイズ　等
代表者の電話番号／メールアドレス

3　技術サポート

開発期間中、テック企業の社員と市職員がメンターとして皆さんをサポートします（アイデア、発表方法等）
事前開発期間は、チャット・ウェブ会議での対応となります
現地での開発では、その場でサポートを行います

4　参加特典

参加者にはオリジナルイベントＴシャツをプレゼントします。
会場でお渡ししますので、全員で着用してオープニングを迎えましょう！

6　鈴鹿市DX推進監について

三宿　仁
みしゅく　じん

株式会社サイバーエージェント

AI事業本部
行政DX GovTech開発センターPdM
アドテクProfit-X 事業責任者

■担当領域
- 行政DX
- AIプロダクト開発
- 事業戦略
- 組織カルチャー

プロフィール

大学卒業後、プログラマーからシリコンバレースタートアップを経て、2011年サイバーエージェントへ入社。
入社時はシステムディレクターとして広告計測における特許出願、Ameba内サービスの開発責任者を経験。
GovTech開発センターでは、プロダクトマネージャーとして担当プロダクトは以下。
・AIによる交通量観測サービス「センサスAI」
・サービスデザインによる市民目線のAPP/HP制作
2022年より姫路市の中核的経営人材としてスマートシティ・EBPMを担当。
2024年より鈴鹿市DX推進監に就任。

7　開発テーマについて

地域の未来をデジタルで救え！

鈴鹿市では2050年には人口が今の80%程度、社会サービスを担う世代は今の70%程度になると推計されています。
全国でも、ほとんどの地域が鈴鹿市と同様に人口が減少すると推計されており、
その結果、今と同レベルの社会サービスを受けるのは困難になるのではないか、と予想されています。

皆さんには、将来の困難を見据えて、デジタル技術での解決手段を提案していただきます。

課題①　【災害時における市民の安全確保】

近年、地球温暖化が原因と考えられる気候変動により、台風の強大化や集中豪雨などの気象災害が頻発しており、今後、平均気温がさらに上昇することで、居住環境が大きく変わる可能性があります。現時点でもすでに課題となっていますが、そういった災害時の避難方法は年齢や身体状況によって、大きく異なり、個別のカスタマイズが必要となります。

そこで、将来を見据え、誰もが自分の避難経路を簡単に把握するためのデジタルを用いたサービスを提案してください。

課題②　【自転車の交通ルール】

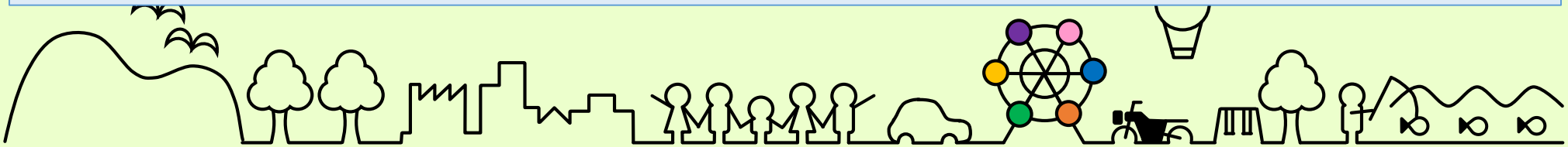
現在、大きな課題となっている地域の公共交通の問題は、将来、自動車の自動運転の普及により解決されることも見込まれます。
しかし、自動運転の普及のためには、公道上の車両が交通ルールを順守しなければ、自動運転は一部エリアに留まる可能性があります。
そこで、デジタルを活用して、自転車が交通ルールを順守して走行するためのサービスを提案してください。

課題③　【鈴鹿市の伝統工芸の活用】

鈴鹿市には鈴鹿墨と伊勢型紙という伝統工芸品が存在します。
しかし、現時点で伝統工芸となっているものは人口が減少すると、一層、活用する人が減ってしまい、失われる可能性があります。
そのため、デジタルを活用して、これらの知名度や使用量が増えるサービスを提案してください。

課題④　【自由課題】

人口減少によって今後、地域で発生する課題を想像し、その課題をデジタルで解決するサービスを提案してください。



8　制作物・発表について

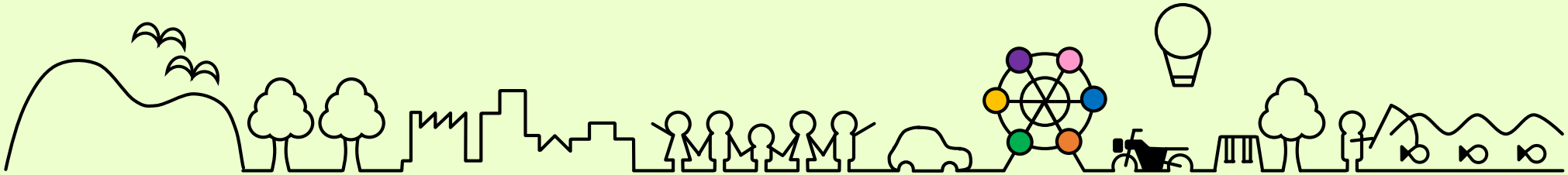
1　制作物

ソフトウェア、ハードウェア、それらの融合など形態を問わない(*1)
発表作品は開発期間に参加チームメンバーによって作成されたオリジナルのものとする (*2)
発表作品は発表会場でのプレゼンテーションが可能なものとする
公序良俗に反したものでないこと
既存サービスの模倣となっていないこと
作品及び発表資料については、OSSやAPIなどを利用する際は、ライセンスを遵守すること
他者の著作物である漫画、音源、写真などの無断流用等を行わないこと
主催者及び協力者のホームページや各種媒体等において、イベントの様子や作品詳細を含む公開に同意できること (*3)
公開の際に情報を加工する可能性があることに同意できること
本イベントを通して達成された知的財産は、発明者自身（開発参加チームメンバー）が所持するものとする

(*1)発火したり、極端に大きな音を発したり重いものは不可
(*2)過去に作成したものや、他のイベントで発表済みの作品を発表することは不可
(*3)本イベントの作品情報及び制作過程や発表風景（写真・動画）は、主催者が広報に利用することがあり、参加者はあらかじめこれに同意するものとする

2　発表

デモやモック、スライド、動画などを用いた、3分間の規定時間内でのプレゼンテーションを実施していただきます



9　審査・表彰について

1　審査員
鈴鹿市DX推進監　三宿　仁
鈴鹿市職員
他１名

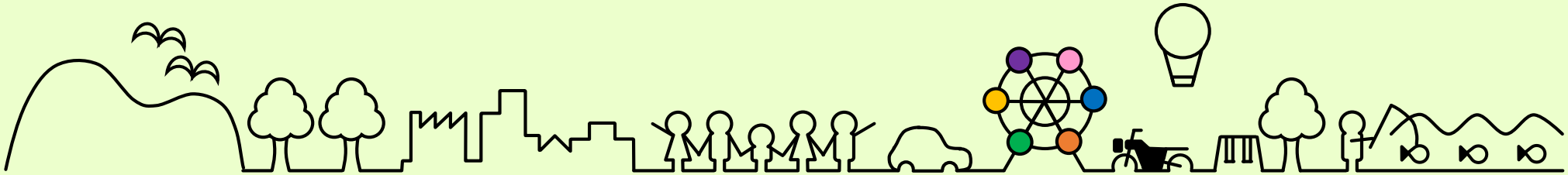
2　審査基準
以下を総合的に判断します
新規性（技術や組み合わせのオリジナリティがあるか）
技術性（利用している技術は高度か）
発展性（将来どの程度の波及効果が期待できるか）
再現性（アイデア、プレゼンテーションだけではなく実際に動くものがあるか）
テーマ性（テーマに対して十分に整合が図れているか）

3　表彰
合計３チームを表彰します

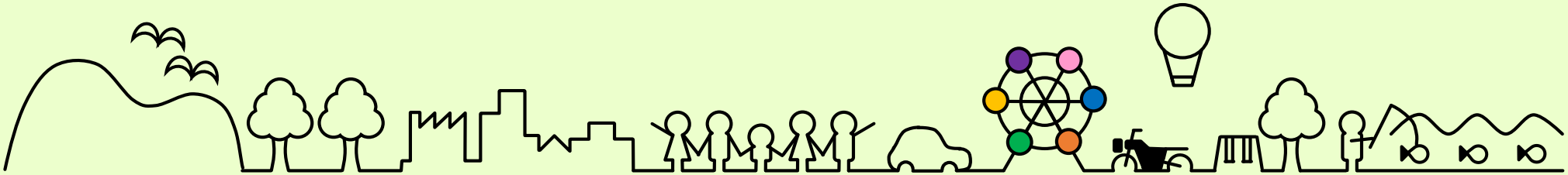
4　副賞

鈴鹿市賞	アマゾンギフト券	５万円分
ＤＸ推進監賞	アマゾンギフト券	３万円分
高専ハッカソン賞	アマゾンギフト券	２万円分

※副賞の名称は変更になる場合があります



１０　その他

問合せ先

鈴鹿市　政策経営部　総合政策課（担当：宮﨑、大河内、松田）
電話　：059-382-9038
メール：sogoseisaku@city.suzuka.lg.jp